

地図9 出雲平野（三瓶山の土砂を神戸川が運び、出雲平野が形成された）



「出雲国風土記」の国引き神話では、八束水臣津野命は、引き寄せた土地を、三瓶山と大山を杭にして繋ぎ留めたとされる。

「出雲国風土記」によると、出雲国には、仏経山（出雲郡）、茶臼山（意宇郡）、朝日山（秋鹿郡）、大船山（楯縫郡）の4つの神奈備山があるとされている。

大量の銅鐸、銅剣等の埋納されているのが見つかった加茂岩倉、荒神谷遺跡は、仏経山近くの山中にある。「記紀」にも「出雲国風土記」にも銅鐸は出て来ない。青銅器祭祀の記憶はなぜ残らなかったのだろう。